

甲 第 号

勝井 龍平 学位請求論文

# 審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

## 論文審査の要旨及び担当者

| 報告番号    | 甲第     | 号 | 氏名  | 勝井 龍平 |
|---------|--------|---|-----|-------|
| 論文審査担当者 | 委員長    |   | 教授  | 吉川 公彦 |
|         | 委員     |   | 准教授 | 朴木 寛弥 |
|         | 委員     |   | 教授  | 田中 康仁 |
|         | (指導教員) |   |     |       |

### 主論文

Relationship between displacement and degenerative changes of the  
sesamoids in hallux valgus

(和訳) 外反母趾における種子骨の偏位と関節症変化の関係

Ryuhei Katsui, Norihiro Samoto, Akira Taniguchi,  
Manabu Akahane, Shinji Isomoto, Kazuya Sugimoto,  
Yasuhito Tanaka  
Foot & Ankle International  
2016 Aug 16. [Epub ahead of print]

## 論文審査の要旨

外反母趾を治療する場合には、第1中足骨頭と種子骨の適合性を評価することは重要であるが、単純 X 線像では第1中足骨と種子骨との関係を正確に評価することは困難である。そこで申請者は、外反母趾足に対して荷重をシミュレーションした CT を撮影し、種子骨の位置や種子骨中足骨関節 (SMJ) の適合性ならびに関節症 (OA) 変化を詳細に検討した。

前足部 CT 冠状断像を用いて、外反母趾患者 142 人 269 足を、内側種子骨が種子骨稜より完全に内側にある足を grade1、種子骨稜の上に乗っている足を grade2、完全に外側に脱臼している足を grade3 として分類した。荷重時単純背底 X 線像の各評価項目と比較することにより、CT による grade が進行すると、外反母趾変形も進行していることが明らかになった。また grade3 では種子骨稜が消失し、SMJ の OA 変化が進行していることを初めて明らかにした。

外反母趾の進行と SMJ の OA 変化の関係についてはこれまでに報告はなく、重症の外反母趾の治療を考える場合、新たな術式が必要になる可能性が示された。本研究は外反母趾の治療の発展につながる有意義な研究であると評価され、博士 (医学) の学位に値すると考える。

## 参 考 論 文

1. Change of the X-ray beam angle may influence ankle image of weight-bearing anteroposterior view: Trial to evaluate ankle joint on standing whole-leg radiograph.  
Ryuhei Katsui, Tadashi Fujii, Katsuya Ito, Akira Taniguchi, Yasuhito Tanaka.  
Clinical Research on Foot Ankle 2016, 3: 184
2. 外反母趾変形に対してCTを用いた母趾種子骨の評価  
勝井 龍平, 佐本 憲宏, 曾根 由人, 田中 康仁  
日本足の外科学会雑誌 第36巻1号: 94-98, 2015
3. TKA 出血 TKA 術後のドレーン非留置下、トラネキサム酸関節内注入の有効性  
塩田 悠介, 奥田 真義, 伊東 勝也, 藤谷 良太郎, 勝井 龍平, 田中 康仁  
日本人工関節学会誌 第44巻:433-434, 2014
4. TKA 患者立脚型評価 人工膝関節置換術の術後評価 患者立脚型評価の経時的変化  
奥田 真義, 伊東 勝也, 藤谷 良太郎, 勝井 龍平, 塩田 悠介, 田中 康仁  
日本人工関節学会誌 第44巻:367-368, 2014

5. 踵骨骨折に対するロッキングプレートによる骨接合術の治療成績  
伊東 勝也, 奥田 真義, 勝井 龍平, 高岡 孝典, 田中 康仁  
日本足の外科学会雑誌 第 35 卷 1 号:201-204, 2014
6. 有痛性外脛骨の治療成績  
勝井 龍平, 伊東 勝也, 藤谷 良太郎, 奥田 真義, 川南 芙美  
日本臨床整形外科学会雑誌 第 39 卷 1 号:107-110, 2014
7. 人工膝関節置換術の術後評価 患者立脚型評価は有用であるのか(第 2 報)  
奥田 真義, 伊東 勝也, 藤谷 良太郎, 勝井 龍平, 田中 康仁  
JOSKAS 第 39 卷 2 号:350-351, 2014
8. MIS-TKA 術後可動域に影響する因子の検討  
八田 翔太, 奥田 真義, 勝井 龍平, 中治 綱太, 豊満 康博,  
大村 達史, 森岡 勇二  
JOSKAS 第 39 卷 2 号:318-319, 2014
9. 掌側ロッキングプレートを用いた手指基節骨基部骨折の治療  
藤谷 良太郎, 土肥 義浩, 伊東 勝也, 勝井 龍平, 面川 庄平  
骨折 第 36 卷 2 号:165-168, 2014
10. Accessory anterolateral talar facet インピンジメントに対する鏡視下・透視下切除関節形成術の 1 例  
勝井 龍平, 伊東 勝也, 田中 康仁  
整形外科 第 64 卷 12 号:1293-1296, 2013

11. 短腓骨筋腱の筋肥大により腓骨筋腱障害を生じた1例

奥田 真義, 伊東 勝也, 藤谷 良太郎, 勝井 龍平, 高岡 孝典,  
田中 康仁

日本足の外科学会雑誌 第34巻1号:257-260, 2013

12. 長母趾伸筋腱鞘に発生したFibroma of Tendon Sheathの1例

伊東 勝也, 奥田 真義, 勝井 龍平, 高岡 孝典, 田中 康仁

日本足の外科学会雑誌 第34巻1号:232-235, 2013

13. 内側型変形性膝関節症患者の脛骨・足関節形態の計測 下腿内反が足関節に及ぼす影響

勝井 龍平, 伊東 勝也, 奥田 真義, 藤井 唯誌, 田中 康仁

日本足の外科学会雑誌 第34巻1号:169-172, 2013

14. 外反母趾手術に対するロッキングプレートの使用経験

勝井 龍平, 磯本 慎二, 佐本 憲宏, 杉本 和也, 田中 康仁

日本足の外科学会雑誌 第34巻1号:149-153, 2013

15. 重度外反母趾に対する回旋差し込み骨切り術

佐本 憲宏, 磯本 慎二, 杉本 和也, 勝井 龍平, 田中 康仁

日本足の外科学会雑誌 第34巻1号:101-106, 2013

16. 人工膝関節置換術の術後評価 患者立脚型評価は有用であるのか?

奥田 真義, 伊東 勝也, 藤谷 良太郎, 勝井 龍平, 川南 芙美,  
田中 康仁

JOSKAS 第38巻2号:282-283, 2013

17. 関節リウマチによる重度の骨欠損を伴った両内反変形膝に対して  
constrained TKA を施行した 1 例  
奥田 真義, 伊東 勝也, 藤谷 良太郎, 勝井 龍平, 川南 芙美,  
田中 康仁  
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 第 56 卷 2 号:463-464, 2013
18. 両足三角骨障害に対して鏡視下三角骨摘出術を施行した 1 例  
森田 成紀, 磯本 慎二, 田中 寿典, 勝井 龍平, 岡橋 孝治郎,  
佐本 憲宏, 杉本 和也  
奈良県立奈良病院医学雑誌 第 16 卷 1 号:72-74, 2012
19. 足関節外側靭帯新鮮損傷例の MRI 所見  
杉本 和也, 磯本 慎二, 佐本 憲宏, 勝井 龍平, 高倉 義典  
日本整形外科スポーツ医学会雑誌 第 32 卷 1 号:59-64, 2012
20. 前脛骨筋腱の広範囲変性断裂に対し再建術を行った 1 例  
勝井 龍平, 磯本 慎二, 伊東 勝也, 佐本 憲宏, 杉本 和也  
日本足の外科学会雑誌 第 32 卷 2 号:189-193, 2011
21. 高齢者陳旧性アキレス腱断裂に対する人工靭帯併用再建術の治療経験  
伊東 勝也, 佐本 憲宏, 磯本 慎二, 勝井 龍平, 杉本 和也  
日本足の外科学会雑誌 第 32 卷 2 号:32-36, 2011
22. 強剛母趾に対する関節唇切除術(Cheilectomy)の治療経験  
勝井 龍平, 佐本 憲宏, 磯本 慎二, 杉本 和也, 田中 康仁  
靴の医学 第 24 卷 2 号:119-124, 2011

23. 大腿骨転子部骨折における術後 ADL を決定する因子

勝井 龍平, 古田 和彦

骨折 第 32 卷 1 号:114-117, 2010

24. 橈骨遠位端骨折術後の掌側プレートは抜去すべきである

古田 和彦, 勝井 龍平

骨折 第 32 卷 2 号:255-257, 2010

25. 橈骨遠位端骨折における Acu-Loc Distal Radius Plate のサイズバリエーションの選択

古田 和彦, 寺西 朋裕, 勝井 龍平, 竹村 和生

骨折 第 31 卷 4 号:660-663, 2009

26. 小児外傷性股関節後下方脱臼の 1 例

勝井 龍平, 小野 浩史, 古田 和彦, 寺西 朋裕

日本小児整形外科学会雑誌 第 19 卷 1 号:30-33, 2010

27. 脳膿瘍の治療経過中に静脈性梗塞によると考えられる膿瘍部位の出血を合併した一例

笠原 敬, 中森 聡子, 杉江 和馬, 勝井 龍平, 中川 智代,

米川 真輔, 宇野 健司, 森 啓, 善本 英一郎, 古西 満, 上野 聡,

三笠 桂一

日本嫌気性菌感染症研究 第 37 卷:43-45, 2008



28. 距骨に発生した骨端骨異形成症の2例

勝井 龍平, 小杉 真一, 成川 功一, 田中 康仁, 熊井 司,

高倉 義典

中部日本整形外科災害外科学会雑誌 第50巻4号:643-644, 2007

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに整形外科学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 28 年 11 月 8 日

学位審査委員長

画像診断・低侵襲治療学

教授 吉川 公彦

学位審査委員

運動器再建医学

准教授 朴木 寛弥

学位審査委員（指導教員）

運動器再建医学

教授 田中 康仁